

平成19年5月15日

山武市長 椎名 千収 様

成東地区地域審議会
会長 實川 征吾

意見書

成東地区地域審議会は、平成18年7月21日の発足から5回の会議を開催し、新市のまちづくりにあたり成東地区の状況、課題について慎重に審議いたしました。この結果を踏まえ、成東地区地域審議会として別紙のとおり意見書を提出します。

成東地区地域審議会意見書

1．成東駅北側の整備について

成東駅北側については、昭和40年代に大手不動産業者による買収が始まり、その後、幾度か開発の動きがありましたが事業化までは至ってはならず、現在までの約35年間、荒廃した状態のままであり、また、関係者（地権者等）によると、現時点では事業化の動きはないとのこと。

現在の状況のまま放置しつづけることは、商業活性化・市税問題など成東地区の資産としての価値が損なわれている状況ではないかと見受けられます。

成東駅を含めた駅周辺地域の活性化を図るためにも、この地域における道路等の生活基盤の整備が必要と考えます。なお、地元地権者については、駅北側の開発に対して、大方の同意が得られているとお聞きしております。

成東駅北側の整備をおこなうことにより、人口の増加・雇用の促進など、さらには駅舎の橋上化、ホーム延伸などに結びつくものと考えられます。成東駅を中心とした商業圏を形成することが、将来の山武市の発展に寄与するものと考えられますので、この成東駅北側を含めた駅周辺地域の総合的な整備を重点的に推進くださるよう提言します。

2．郷土資産を利用した観光振興及び地域住民の健康増進について

私たちが住んでいる成東地区には、伊藤左千夫の生家を始めとした名勝、遺跡、伝統、文化だけではなく、里山や棚田など自慢できる多くの自然が存在します。

この郷土資産を個々で活用するだけではなく、点から線へといくつもの資産をつなぎ合わせることで、成東地区のさらなる観光振興を求めたいと考えます。

ここで提案したいのが、いろいろな観光資源を遊歩道でつなぎ、安全で、楽しく巡ることができる街として、多くの方々が成東に訪れていただけるよう整備していただきたいと考えます。また、現在メタボリックシンドローム（生活習慣病）の改善は、食及び運動することが大切と聞いております。医療費の削減を図るうえでも、ウォーキングやサイクリングなどに利用することもでき、これからの高齢化に対し、健康な体づくりということが注目されています。安全、安心の身近な遊歩道として利用できるものを求めるものです。

整備にあたっては、従前から事業化されている「駅からハイキング」にも併せて利用できるルートを検討していただきたいと考えております。

3．成東海岸の駐車場整備について

成東海岸は、有料道路等の開通、又県下でも有数なきれいな海として、数多くの方々が訪れています。

平成13年より成東海岸は、駐車場を有料化しており、その収入により海岸整備をおこなってきているところです。現在、約6haの区域を駐車場として利用していますが、舗装整備がおこなわれているのは、600㎡程度であります。負担している利用者へのサービス向上からも負担に見合った施設提供を行なうことが将来の海水浴客の増加にもつながると思いますので、駐車場の舗装整備の計画を立てすみやかに実施していただき、成東海岸のイメージを確保するためにも適切な対応をお願いします。

4．成東地域の医療体制について

今、医師不足による医療問題が全国的にも高まっております。

成東病院も去年の4月、医師不足による診療科の閉鎖など大混乱が生じ、地域住民は不安のどん底にありました。幸い、その後、閉鎖された診療科は、関係者の努力により最小限ではありますが、診療が再開されたことは大変喜ばしいことです。

しかしながら、昨年以前の国保成東病院が私たち住民に安心安全な医療をしっかり守っていただいたことからすれば、医療体制の大幅な変遷があったにせよ、現在の地域医療に対し、地域住民は危機を感じています。特に救急医療については、どの病院で受け入れてもらえるのかが大きな不安となっています。

山武市を始め、各市町では山武地域の医療問題を最重要施策として位置づけ、ご苦労されていることは十分承知をしております。地域住民が安心して住むことができる医療施設を確保していただくためにも、国保成東病院の健全な運営体制と地域における充実した救急医療体制について一刻も早い確立がなされるよう提言します。